

(社) 日本原子力学会 標準委員会 原子燃料サイクル専門部会
第4回 輸送容器分科会 (F3SC) 議事録

1. 日時 平成12年 7月3日 (月) 13:30~15:30

2. 場所 日本原子力研究所 第5会議室

3. 出席者 (敬称略)

(出席委員) 有富 (主査)、二瓶 (副主査)、望月 (幹事)、芦澤、伊藤、植木、上園
尾崎、讚井、佐藤、道券、林、広瀬、松田、丸岡、三方、吉村
(17名)

(欠席委員) 久保 (1名)

(常時参加者) 川上、金井 (清水の代理)、白井、高橋、手塚、藤原 (6名)

(傍聴者) 田村、三澤 (2名)

(事務局) 市園

4. 配付資料

F3SC4-1 第3回 輸送容器分科会 議事録 (案)

F3SC4-2 標準委員会の活動状況について

F3SC4-3 第3回輸送容器分科会 F3SC4-5大型輸送容器定期自主点検基準 (案) に
対するコメント

F3SC4-4 FTC2-4使用済燃料等輸送容器定期自主点検基準 (案) に対する原子燃料サイク
ル専門部会委員コメント

F3SC4-5 日本における使用済燃料等輸送容器の手続きについて

F3SC4-6 信頼性手法 (FMEA) の妥当性について

F3SC4-7 使用済燃料等輸送容器定期自主点検基準 (案)

参考資料

F3SC4-参考1輸送容器点検・保守の基準化に係る輸送容器分科会の検討状況報告 (FTC2-3)

F3SC4-参考2 標準制定までの経過

F3SC4-参考3 標準委員会等の開催予定と実績

5. 議事

(1) 出席者の確認

事務局より、出席者の確認の結果、18名の委員中17名の出席があり、決議に必要な委員数 (9名以上) を満足している旨の報告があった。また、藤原氏を常時参加者とするのを全会一致で承認した。

(2) 前回議事録確認

前回議事録について承認された。(F3SC4-1)

(3) 活動状況報告

事務局より原子燃料サイクル専門部会等の活動状況の報告を行った。(F3SC4-2)

(4) 原子燃料サイクル専門部会における審議結果について

a. 二瓶副主査より第2回原子燃料サイクル専門部会にて本分科会の検討状況について中間報告を行った旨報告があった。

b. 望月幹事より中間報告にあたり事前に寄せられていた分科会委員からのコメント及びその対応状況について説明を行った。(F3SC4-3)

(5) 使用済燃料等輸送容器定期自主点検基準 (案) の審議

原子燃料サイクル専門部会委員からのコメント及びその対応について尾崎委員より説明があり、以下の議論が行われた。(F3SC4-4)

・ 行政官庁の検査について通達を引用しているが、通達名を正確に記載すること。

・ 分科会/専門部会/標準委員会それぞれがどのような視点で基準を審議するのか、それぞれの会の役割を明確にすべきである。

(6) 今後の予定について

事務局より標準委員会における専門部会運営内規 (案) の審議/決議投票の後、専門部会、標準委員会における審議/決議投票を行うこととなり、その後公衆審査に入るスケジュールの紹介を行った。主な意見を以下に示す。

・ 標準の有効期限は特に定めはなく、5年毎に見直しを行い発行される。

・ 本基準が通常の商業取引の契約等に使用される場合、学会がいかなる損害に対しても責任を負わないことを示した免責条項 (案) を事務局が検討し、本基準案に反映する。

・ 本文、付録、解説の順序等標準作成手引きの最新版を本基準案に反映する。

・ 民間規格の活用には規格制定/改廃の迅速さが要求されるため、制定/改廃の手続き期間等については柔軟に短縮等できるように進める必要がある。

- ・ 専門部会／標準委員会の審議、公衆審査等の状況により必要に応じ、逐次分科会を開催する。
- (7) その他
- ・ 本分科会にて検討を行う安全解析手法の標準化については、追って日程等連絡を行う。

以上